

徳島市民病院

# 地域医療連携だより

 平成23年  
**12**  
 月号

 〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室  
 Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

## 「思いやり・信頼・安心」

### 高度肥満に対する外科的治療について

 徳島市民病院 外科主任医長  
 尾形 頼彦


連携医療機関の先生方には平素より大変お世話になっており誠にありがとうございます。

今回は、高度肥満に対する手術治療についてご報告申し上げます。

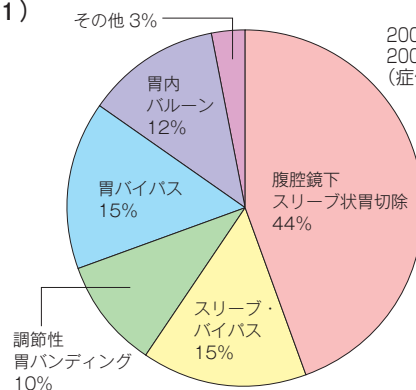
肥満は世界中で急速に増加しており、わが国においても肥満の指標であるBMI 25 kg/m<sup>2</sup>以上の肥満人口は年々増加し成人の約1/4が肥満に分類されます。肥満は糖尿病、高血圧、高脂血症などに関連する代謝疾患でメタボリックシンドロームの基盤となります。肥満治療は食事療法、運動療法などの内科的治療が原則ですが、高度肥満患者(BMI ≥ 35kg/m<sup>2</sup>)では減量状態を維持することは困難で長期的にみれば不成功に終わることが多いとされています。そのため海外では肥満に対する外科的治療がより積極的に行われるようになっており、世界では年間40万件余りの手術治療が行われています。しかし、わが国では保険適応の問題もあり年間100例程度しか行われていないのが現状です。

手術治療には「胃内バルーン」、「胃バンド」、「バイパス手術」などがありますが、現在わが国で最も多く施行されている術式は「腹腔鏡下スリーブ状胃切除術」です(図1)。胃の外側の部分を2/3程度切除し、3、4口(約100cc)も食べればお腹がいっぱいになるように胃の容量を小さくする手術です(図2)。内科的治療に抵抗する高度肥満症(BMI ≥ 35kg/m<sup>2</sup>)が適応となります。この術式の超過体重減少率(標準体重を超えた体重のうちの何%減量するか)は50~60%と言われています。アジア人における手術1年後の糖尿病寛解(糖尿病の薬が要らなくなる)率は50%弱と報告されています。

当院では、過去に様々な内科的減量方法を試みたが成功せず減量手術を希望された50歳代の男性に「腹腔鏡下スリーブ状胃切除術」を施行しました。糖尿病、高血圧を合併しており術前体重は138kg、BMI44.6でした。全身麻酔下で上腹部に4か所の穴をあけ、腹腔鏡下に自動縫合器を用いて胃を切除し小さくしました。切除した胃は上腹部にあけた穴から体外に取り出し、穴を縫合し閉じました。術後経過は良好で術後8日目に退院されました。術後4か月の時点で体重112kg(26kgの減量)、HbA1cは正常化し糖尿病内服薬の服用量を減量中で患者さんは大変満足されています。

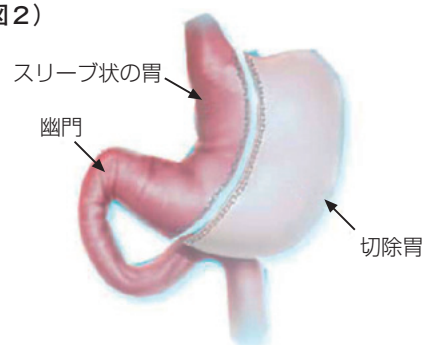
これからも専門性を発揮した安全で質の高い医療を提供できるように努力してまいります。今後とも徳島市民病院をよろしくお願い申し上げます。

(図1) 2008年1月~2009年8月 (症例数=91)



(出典: Survey by Japan Research Society for Endoscopic and Laparoscopic Treatment of Obesity, JELTO)

(図2)



## ★認定看護師の紹介★

当院では、医療の高度化・専門分化に対応し、特定の看護分野において指導的な役割を担う認定看護師を育成しています。認定看護師は、日本看護協会の認定審査に合格し、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することを認められた者です。

現在、当院には、感染管理、皮膚・排泄ケア、がん化学療法、緩和ケア、新生児集中ケアの認定看護師が配置されています。

### 緩和ケア認定看護師

岩井 久代



緩和ケアは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期から痛み、身体的問題、社会的問題、スピリチュアルな問題に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、QOLを改善するものですが、「緩和ケア」＝「終末期」の印象は

今も消えず、「緩和ケア認定看護師」と名乗るだけで、顔のこわばる患者さまも少なくありません。緩和ケアチームが早期から介入することに対して、「まだそんな時期ではない。」と言われる方もたくさん居られます。

私は、「告知」「検査」「治療」「看取り」などあらゆる場面で、患者さまやご家族の思いに寄り添い、支えていくのが「緩和ケア」であり、緩和ケア認定看護師として、「思いやり」の心で患者さまやご家族に接し、「安心・信頼」される看護を提供できるよう努めて行きたいと考えております。

### 新生児集中ケア認定看護師

佐藤 美紀



新生児集中ケア認定看護師は、NICU（新生児集中治療室）において、早産により、小さく生まれてきた赤ちゃんや何らかの疾患を持ち生まれてきた赤ちゃんに後遺症や合併症が残らないよう成長・発達の手助けをしています。

また、NICUに入院された赤ちゃんのご家族は、誕生の喜びと不安が交錯する複雑な思いを持たれているため、特

別なケアが必要となります。赤ちゃんが一日も早く元気に退院できるよう看護させて頂くとともに、ご家族の不安を少しでも和らげることを目指して、ご家族のお気持ちを大切にしながら看護させて頂いています。

NICUでは、私自身多くのことを赤ちゃんやご家族から学び、経験させて頂いております。認定看護師として質の高い看護ケアの提供を心がけ、スタッフとともに安全でより良い看護が提供できるように、家族の笑顔・赤ちゃんの笑顔・退院後の健やかな成長を励みに日々研鑽して参りたいと思います。

## 統計コーナー

### 診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科名	10月						9月		8月		
	初診患者数 (人)	初診時間外 (人)	初診紹介患者 (人)	初診即入院 (人)	逆紹介患者 (人)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)
内科	391	143	188	49	97	75.1%	37.2%	63.9%	39.6%	56.8%	36.8%
小児科	266	157	84	77	30	69.1%	21.6%	80.5%	33.3%	54.8%	31.3%
外科	236	64	143	18	91	82.1%	50.8%	78.5%	66.9%	80.1%	61.8%
整形外	318	104	159	24	236	74.4%	105.8%	69.2%	111.1%	67.8%	94.1%
形成外	0	0	0	0	3	—	—	—	—	75.0%	150.0%
脳神経	94	14	42	9	66	54.1%	77.6%	67.4%	80.4%	47.4%	66.3%
皮膚科	76	14	20	4	8	33.3%	12.7%	36.2%	10.1%	22.9%	5.5%
泌尿器	86	10	51	8	31	67.5%	40.3%	70.7%	29.3%	64.2%	29.9%
産婦人	85	13	46	9	21	61.8%	27.6%	55.8%	17.4%	62.7%	25.3%
眼科	15	1	6	0	8	42.9%	57.1%	33.3%	13.3%	13.0%	43.5%
耳鼻咽	16	1	4	0	8	26.7%	53.3%	12.5%	37.5%	10.0%	40.0%
放射線	58	0	55	0	66	94.8%	113.8%	98.5%	103.0%	98.4%	96.7%
合計	1,641	521	798	198	666	70.3%	56.0%	68.1%	57.0%	59.5%	51.3%

平成23年10月の紹介患者数(再診患者を含む)  
302医療機関より1082名ご紹介いただきました。  
ありがとうございました。

